

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

令和二年十二月度 入選句 (投稿総数二千四百九十二句・小中学投句数千九百十六句)

特選

蝗さん 新米の上とびはねる 大垣市 坂 煌 太(小五)

毎日の食事には欠かせない「お米」秋、お米の採り入れが始まり、その時には、お米のできたわらに「蝗」がたくさん集まり飛び跳ねていた記憶は私にもあります。今では、そのような光景を目にすることが少なくなつたように思いますが、作者はそんな光景をしっかりと捉え、「新米の上とびはねる」としたところがいいですね。蝗の喜んでいる様子、採りたての「新米」のぬくもりが伝わってきます。秋の暮らしの中で目にしたことが、素直に語られています。

サンタサンコロナにまけるながんばって 大垣市 石田 あかね(小四)

「サンタさん」と言えば、「プレゼント」そんな思いが多くの子たちにあるのではないのでしょうか。そんな中で、作者は「サンタさんコロナにまけるながんばって」と励ましの言葉をかけています。すばらしいことです。サンタさんにあなたの心が届き、みんなもコロナには気を付けて、よい年を迎えたいですね。

運動会なかまを信じるバトンパス 大垣市 間野 実月(小六)

今年の運動会はコロナ等の関係で少し形を変えた運動会が行われた様ですね。しかし、どんな形であっても運動会の「リレー」は、会場も盛り上がり一体感がありますね。そんな中で、「バトン」を受けとるとき緊張感、言葉では言い表せないほどでしょう。そんな緊張感の中で「仲間を信じる」の一言が団体競技の心ですね。心に残るよい運動会だったことと思います。

秀逸

団栗が坂を転がる旅に出る 大垣市 奥田 瑛斗(小五)

こもり歌夜ねむるころ虫の声 大垣市 神田 莉嘉(小五)

ゆず風呂がないしよ話を長くした 大垣市 大橋 由名(小四)

お母さんはりきって作る栗ごはん 大垣市 安藤 麻南珂(小六)

運動会心をつなぐバトンパス 大垣市 岡 莉々子(小六)

かかしどの番犬のごとく稲守る 大垣市 森 慶 将(小六)

太陽にしゃべりかけてる雪だるま 大垣市 安達 未媛(小四)

いねかりのわらのふとんでねてみたい 大垣市 田口 奏瑠(小二)

おちばふくかぜにふかれてしゃべってる 大垣市 松岡 咲斗(小二)

朝起きてストーブの前争奪戦 加茂郡川辺町 徳富 陽彩(中一)

入選

雪うさぎ耳は葉っぱで目はきのみ 大垣市 入山 ゆづき(小三)  
 運動会親がはずともがんばれた 大垣市 高橋 康仁(小五)  
 月見をしようさぎもちつき楽しそう 大垣市 生田 兼進(小五)  
 かえでの葉ひらひらおちてじゆうたんに 大垣市 伊藤 未翔(小五)  
 下校道 赤い紅葉と青い空 大垣市 日比 理人(小五)  
 あつまってどこにいくのかぎんやんま 大垣市 清水 佑芽希(小四)  
 帰り道 かかしと私おじぎする 大垣市 入山 桃葉(小六)  
 コスモスが視界いっぱい咲きほこる 大垣市 古澤 茉絢(小六)  
 かくれんぼかれはの音ですぐばれる 大垣市 山田 実璃(小四)  
 焼きはじめおもちとぼくでにらめっこ 大垣市 豊永 直斗(小四)

入選

ぼくよりも大きくできた雪だるま 大垣市 赤星 翔哉(小四)  
 冬の朝 白いぼうしのいぶき山 大垣市 加納 冴花(小四)  
 竹馬に「乗れた」と笑う日曜日 大垣市 早野 莉央(小四)  
 きづいたらみかんのかわでやまできた 大垣市 さわ ゆづき(小二)  
 こたつからかおだけだすとかあさんだ 大垣市 まつお そな(小二)  
 たこのようこたつの中に足十本 大垣市 長谷 みおり(小四)  
 学校の窓を開けたら金木犀 大垣市 近藤 百桃(小六)  
 積もる雪君との距離が足跡に 加茂郡川辺町 黒岩 遥菜(中三)  
 リンゴむき少し幸せ独りじめ 加茂郡川辺町 山下 真彩(中三)  
 冬風がとがってささり赤くなる 加茂郡川辺町 村上 依梨名(中二)

選者吟

柚子湯して過ぎし一年振り返る

祐子